

NPO 等との協業

| | | | |
|--|---|------|---------------|
| 都道府県 | 愛媛県 | 学校名等 | 愛媛大学教育学部附属中学校 |
| 名称 | 「e-ネット安心講座」を活用した情報モラル教育の充実 | | |
| 目標(狙い) | 「e-ネット安心講座」で紹介されたインターネット上での危険やトラブルの具体的な事例について、講座実施直後に教師が生徒に考えさせる機会を与えることを通して、インターネットを利用するときの注意点や、正しい情報モラルを理解させ、インターネットをうまく生活や人間関係づくりに活用しようとする態度を養う。 | | |
| (具体的な取組等の内容) | | | |
| 【概要】 | | | |
| <p>「e-ネット安心講座」で、講師の話を一方的に聴くだけで終了とするのではなく、講座に引き続いての学級活動において、学校側がアンケートや振り返りを実施した。さらに本講座を「道徳的体験」と位置付け、総合単元的な道徳学習として一貫した取組を推進した。</p> <p>講座実施直後に、講義内容やトラブル事例の疑似体験（講座におけるビデオ上映）を振り返ることにより、情報モラルについて生徒らがより深い理解を得ることができた。</p> <p>事前に講師と学校側で綿密な打ち合わせをし、講座内容についての学校側の要望を聞き、それに応える形に調整することで、「e-ネット安心講座」自体を学校側が意図する道徳教育の一翼を担う情報モラル教育の教材として活用してもらうことができた。</p> | | | |
| 【実施日時】 | | | |
| 平成26年7月2日(水) 13:25~14:15 (1年) | | | |
| 平成26年7月7日(月) 9:50~11:40 (2年) | | | |
| 平成26年7月7日(月) 11:15~12:25 (3年) | | | |
| 13:25~12:50 | | | |
| 【参加者】 | | | |
| 各学年生徒、各学年部教員、参観を希望する保護者 | | | |
| 【事前打ち合わせ】 | | | |
| <p>「e-ネット安心講座」1回だけの講座では時間が限られ、「浅く広く」という内容になってしまう。今回、学校側から、道徳教育の一翼を担う情報モラル教育に「e-ネット安心講座」を組み込んで活用したいという意向が提示され、講座直後の学級活動で振り返りの時間を設けることを前提に、今回、特に採り上げて欲しい内容、事例等について事前に講師と学校側が打ち合わせを行った。そして、採り上げるテーマ、講義する順番、時間、上映するトラブル事例のビデオの選択、上映するタイミング等を綿密に調整した。</p> <p>特に、講座の最後で、学校側が現在最も懸念しているという「無料通話アプリを利用して仲間はずれになった」事例をビデオ上映した上で、ポイント、問題点、注意点についてのコメント等を、講師からは、学校側との打ち合わせに基づき、意図的に説明を行</p> | | | |

わず、直後の振り返りの時間において、生徒たちに考えてもらうという構成にした。

【受講前】

講座の前に、本講座内の内容の紹介を行い受講の心構えをさせた。

【講座等内容】

- ・ e-ネット安心講座 50分

インターネットによる危険、トラブル事例の紹介。

ビデオ上映による疑似体験

- ・ 学級活動（e-ネット安心講座修了後）

アンケートの実施及び講座で学んだことをワークシートに書かせ振り返りを行わせる。（30分）

【感想、アンケート結果】

アンケート結果より

- ・ 「しっかりとインターネットを利用する時間やルールを作って、安全に利用したいと思いました。」（1年男子）
- ・ 「インターネットが便利だという反面、何かあった時の被害が世界にまで拡がるという問題があり、常に注意を払って利用することが大切だと思いました。いろんな情報が氾濫する中、悪い情報を見極める判断力を身につけたいと思います。」（3年女子）
- ・ 学校からの回答にも、ビデオによるトラブル事例の疑似体験は有効であったとのコメントがあった。

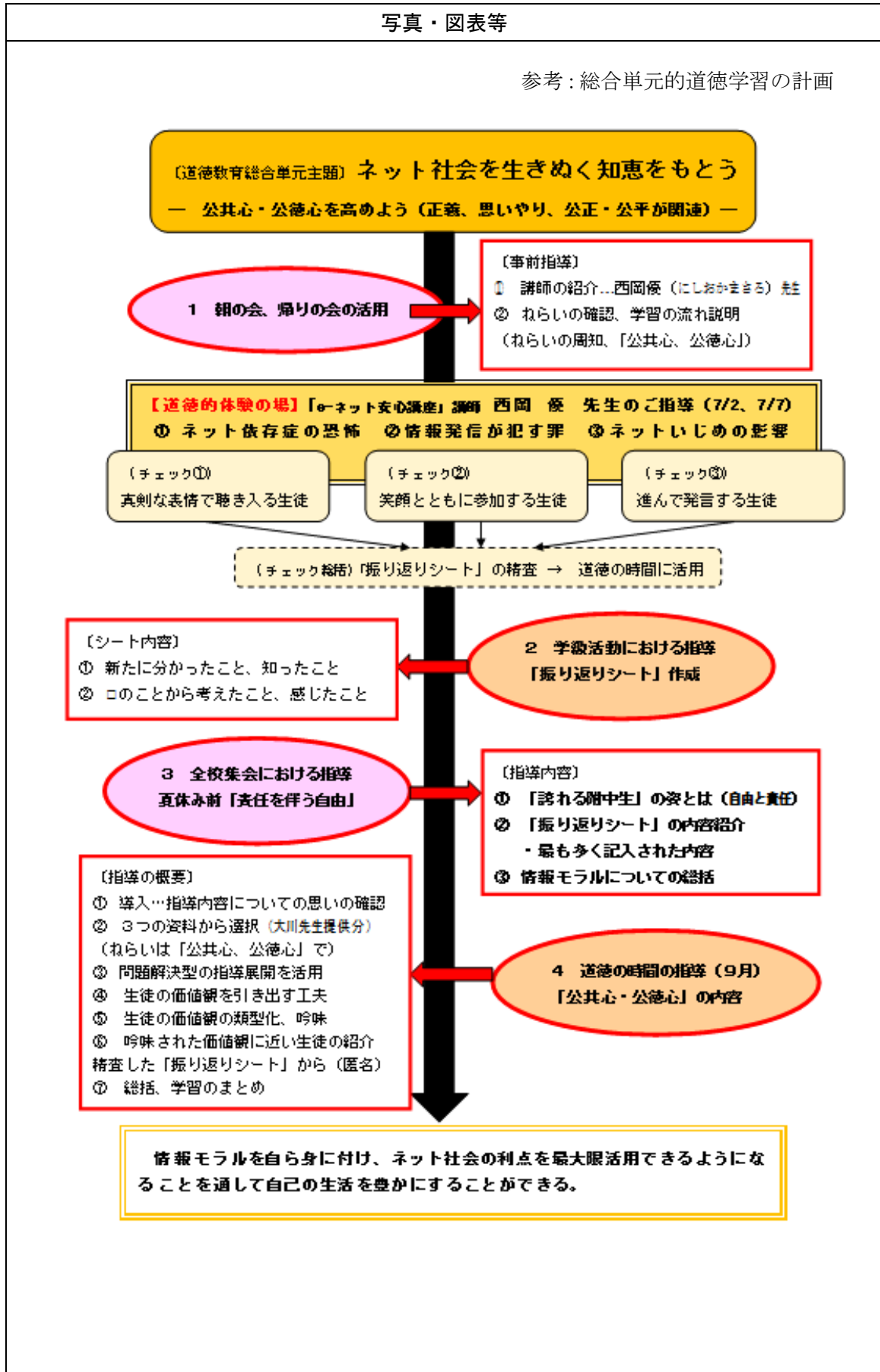
【まとめ】

事前に講師と学校側で綿密に打ち合わせをし、講座内容について、道徳教育の一翼を担う情報モラル教育を行う主体としての学校側の要望を聞き、それに応える形に調整することで、「e-ネット安心講座」自体を学校側が意図する情報モラル教育の教材として組み込んで活用してもらうことができた。今後は当初の計画通り、本講座を活用した道徳の時間の指導の充実により、ねらいに一層迫れることを期待している。

「講師が講座を実施して終了」とするのではなく、学校側がe-ネット安心講座を情報モラル教育の教材として積極的に活用した事例として、他地域でも取り入れるべき先進的取組と認められる。

※参考：総合単元的道徳学習の計画（別添資料）

参考：総合単元的道徳学習の計画





e-ネット安心講座の様子

7/9 2014年07月11日

教育学部附属中学校で学年別情報モラル学習「e-ネット安心講座」を開催しました【7月2日(水)、7月7日(月)】

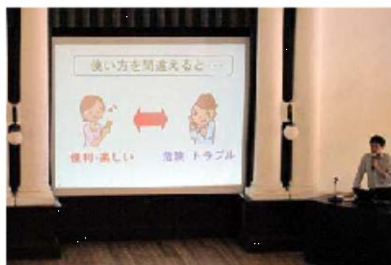
スマートフォンやパソコンを上手に使うと私達の生活は便利で豊かなものになります。一方、使い方を誤ると、様々なトラブルに巻き込まれたり、ネット依存による健康被害を引き起こすことがあります。

附属中学校では、7月2日(水)に1年生、7日(月)には2年生、3年生を対象に、情報モラル学習を実施しました。

講座では、総務省四国総合通信局電気通信事業課企画監理官の西岡優氏が講師を務め、身近なトラブルの事例を取り上げたビデオの視聴も織り込みながら、情報通信機器の上手な使い方を学びました。



受講した生徒からは、「しっかりとインターネットを利用する時間やルールを作って、安全に利用したいと思いました。」(1年男子)「インターネットが便利だという反面、何かあった時の被害が世界にまで拡がるという問題があり、常に注意を払って利用することが大切だと思いました。いろんな情報が氾濫する中、悪い情報を見極める判断力を身に付けたいと思います」(中3女子)といった感想がありました。この講座を通して、生徒たちは、情報モラルを身に付けてインターネットの利点をうまく活用したいという気持ちを高めることができました。



講師の西岡氏



参加した保護者

愛媛大学ホームページ（同大附属中学校の活動を紹介するページ）に掲載

| | | | |
|---|---|------|-----------|
| 都道府県 | 愛知県 | 学校名等 | 弥富市立弥生小学校 |
| 名称 | すごろくを使ってインターネットの安全な利用法を学ぶ | | |
| 目標(狙い) | すごろくを使用してインターネット上の問題の例を学び、ビデオやWeb教材を用いてウィルスや架空請求など、インターネットの安全な利用法を学ぶ。 | | |
| (具体的な取組等の内容) | | | |
| <p>【概要】</p> <p>小学校5年生と6年生の児童が、セキュロクと呼ばれるすごろくを使用してインターネットの脅威について学び、その後にビデオによるウィルスとはどのようなものを学習しました。また、Web教材を使用して架空請求など、なるべく実際の姿に近いものを見せて、その対策について講演を行いました。パソコンだけでなくゲーム機やスマートフォンでも同様の事柄に注意するよう喚起し、インターネットを安全に利用する方法を効果的に学びました。</p> <p>【実施時期・項目】</p> <p>時期：平成26年6月24日 対象：5年生及び6年生の児童 203名 実施事業者：日本電気株式会社・NPO法人イーパーツ 共催</p> <p>【結果】</p> <p>インターネットのよいところだけでなく、ネットでやってはいけないことの両方をゲーム感覚で楽しく学ぶことができました。</p> <p>【参考】</p> <p>この取組みは、「中日新聞(H26.6.25)」に掲載されました。 また、NPOイーパーツのホームページに掲載されました。 「http://www.eparts-jp.org/project/2014/06/nec20140624.html」</p> | | | |

【すごろくに熱中する児童】



【教材に使用したすごろくの「セキュろく」】



| | | | |
|--------|---|------|-------------------------------|
| 都道府県 | 佐賀県 | 学校名等 | 小城市立牛津小学校 NPO 法人 IT サポートさが |
| 名称 | 情報モラル教育ネットワークモデル事業の取組み | | |
| 目標(狙い) | 子どもの情報モラルに関する自己教育力を高め、安心・安全なネット社会の構築に積極的に関わろうとする態度を育成すること。(IT サポートさが「情報モラル教育ネットワークモデル事業 事業成果報告書」より) | | |

(具体的な取組等の内容)

◎取組みの背景

佐賀県では、平成23年度から「先進的 ICT 利活用教育推進事業」と銘打って、ICT 利活用教育が積極的に推進されている。特に平成26年度からは、県内全ての県立高校において、新入生を対象に学習用タブレット端末を使った教育が実施されている。また、学習用タブレット端末は、武雄市などいくつかの小学校においても導入されており、この流れは中学校へも広がりつつある。

このようなことから佐賀県の児童生徒にとっては、ICT 機器が身近にあり高い利便性が得られる一方、長時間利用による生活習慣の乱れや、不適正な利用により、青少年の犯罪被害、いじめやプライバシー上の問題等につながるケースも考えられる。このため、児童生徒が、そのようなリスクや対応策を理解した上で、ICT 機器を正しく利活用できる環境整備や情報モラル意識を醸成させることの重要性が従来に増して高まっている。

◎牛津小学校の取組み

- ・ 道徳の時間を利用して、情報モラル教育を実施。そこで学んだものを図工（ポスター作り）や国語（ドラマ（にわか）作り）の授業に活かす取組が、NPO 法人「IT サポートさが」と連携して、数年前から積極的に行われている。
- ・ 今年の6月には、LINE(株)と静岡大学との共同によるワークショップが、全国の小学校では初めて本校で開催された。



【ワークショップの様相】

◎NPO 法人「IT サポートさが」の取組み

- ・ 特定非営利活動法人「IT サポートさが」は、インターネットを利用するすべての人を対象に、正しく ICT を活用して社会をよりよくしていこうとする事業を行い、だれもが

安心してインターネットを利活用できる社会作りに寄与することを目的に、平成17年4月に設立。

・主な活動は、①情報モラル啓発劇、②「ネットの安心・安全」ポスターコンクール、③講演活動、④ほっとネットライン。

・平成24、25年度は、「情報モラル教育ネットワークモデル事業」(*)を実施。平成24年度は、「子どもの情報モラルを高める演劇的手法」フォーラムや佐賀、群馬、沖縄3県での情報モラルワークショップを開催。平成25年度は、「情報モラル学習チューター」に関する一連の事業と「ポスターコンクール」、「紙芝居ワークショップ」、「相談窓口設置事業」等が行われている。

・理事長は本年9月から牛津小学校の陣内教諭が就任、事務局は地元企業のエヌビーコム。

・ITサポートさがの詳細は、以下のURL参照。

<http://www.it-saga.jp/>



【情報モラル啓発劇】

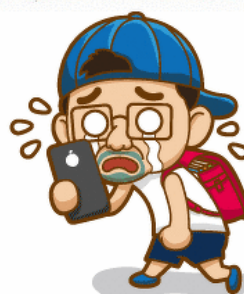


【平成25年度ポスターコンクール結果】



【佐賀県PTA連合会発行（角前理事長編集）】

ほっとネットライン
 子どもたちを取り巻く
 ネットのトラブル相談窓口
0120-797-100



【ネットやケータイ、スマホのトラブル相談窓口】

(*) 独立行政法人 福祉医療機構 社会福祉振興助成事業 全国的・広域的ネットワーク活動支援事業